

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年10月6日  
枚方市立第一中学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

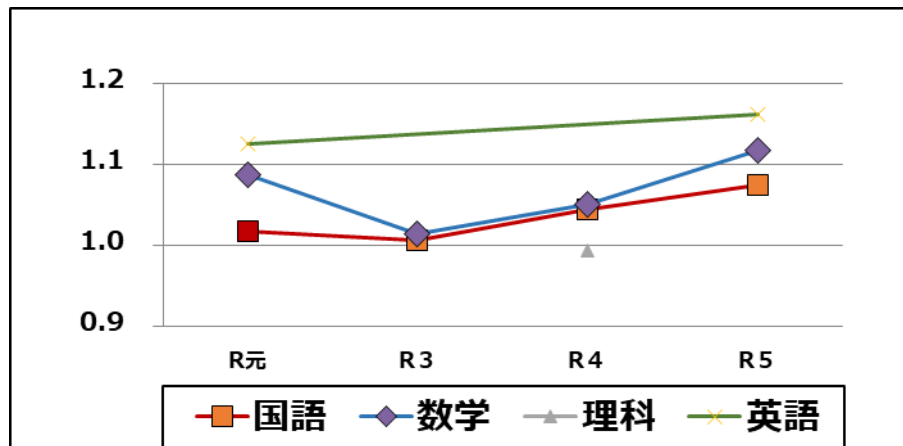
## 【全体概要】

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

## 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

### (全国の平均正答率を1とした経年比較)



※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、英語は令和3年度、令和4年度、理科は令和元年、令和3年度、令和5年度未実施の為、掲載していません。

### <学力調査結果の概要>

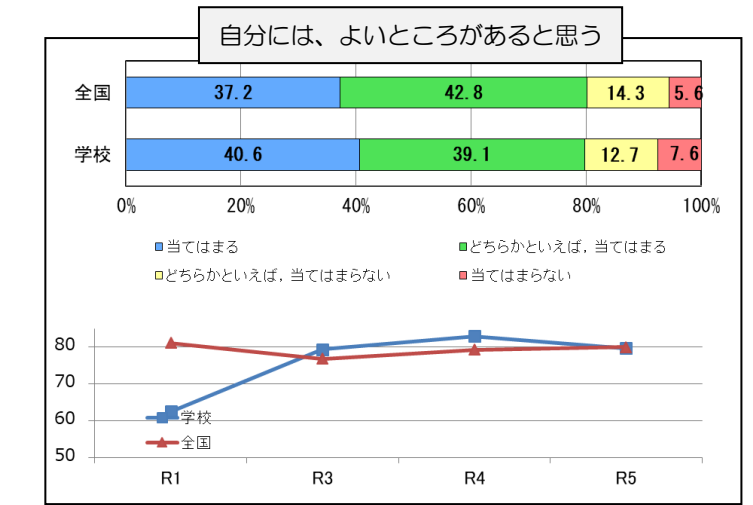
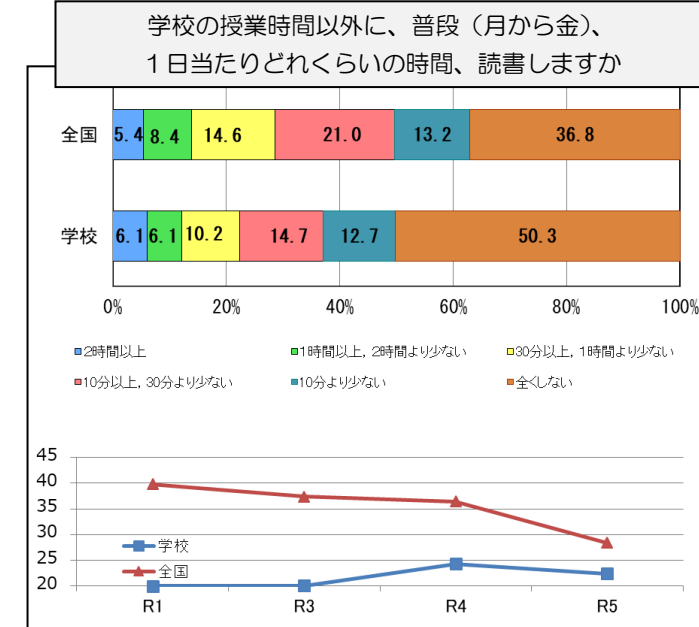
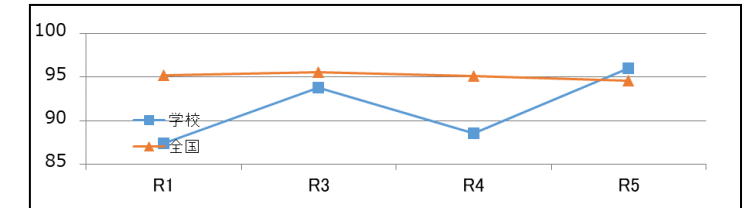
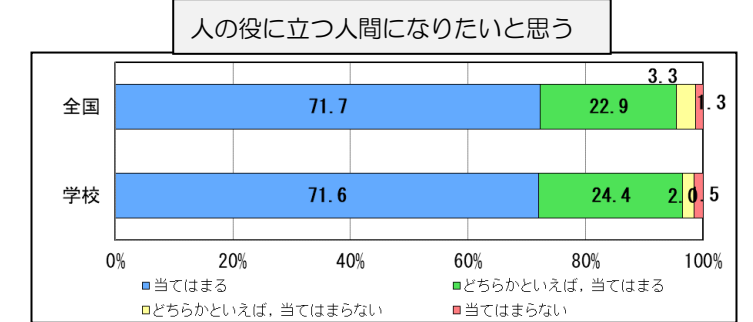
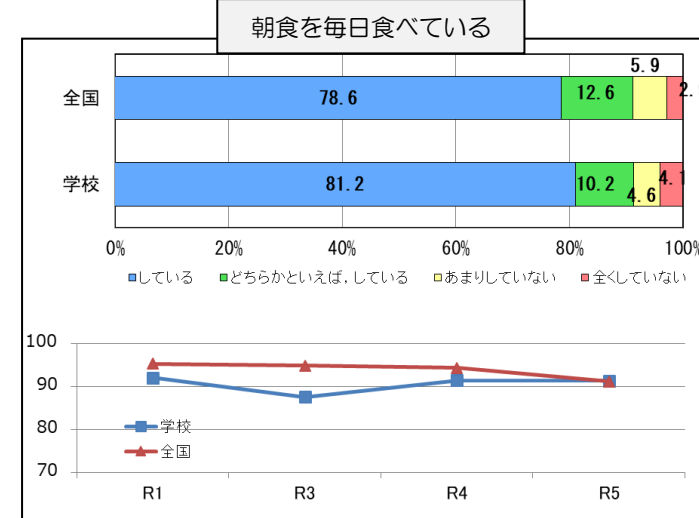
- 国語について  
→本校グランドデザインにおける「自分自身の考えを持ち、他者と意見交流することで考えを広げ、深めることができる」力の育成を目標とした授業を継続して取り組むことで、特に「話す・聞く力」の項目が対全国比1.05となっており、一定の成果を感じることができました。一方で「我が国の言語文化に関する事項」においては、対全国比0.98の問題もあり、「知識及び技能」をさらに上げる余地がありました。
- 数学について  
→本校グランドデザインにおける「思考・判断・表現する力を身につけ、授業などで発表する力」の育成に向けて授業を継続して取り組むことで、特に「記述式」の問題形式では対全国比1.15、「思考・判断・表現」の項目でも対全国比1.15となっており、一定の成果を感じることができました。一方で、学習指導要領の領域「データの活用」においては、対全国比0.94の問題もあり、技能の定着に課題を見受けました。
- 英語について  
→本校グランドデザインにおける「思考・判断・表現する力を身につけ、授業などで発表する力」の育成に向けて授業を継続して取り組むことで、「思考・判断・表現」の項目では対全国比1.14となっており、一定の成果を感じることができました。一方で「思考・判断・表現」の中でも、対全国比0.87の問題もあり、さらに上げる余地がありました。

## 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国  
■ 本校



### <質問紙調査結果の概要>

- 生活習慣について  
→毎朝朝食をとっている生徒は91.4%で、全国を0.2ポイント上回っています。令和4年度とほぼ変わらず高い数値で推移していることは、多くのご家庭でのご理解によるものと推察できます。
- 読書活動について  
→学校の授業時間以外に、30分以上読書をしている生徒は22.4%で、全国を6ポイント下回っているが、2時間以上読書している生徒は6.1%で、令和4年度から3.7ポイント上昇しています。ただ、全く読書をしていない生徒は50.3%で、学校図書館の活用(昼休み時の開館等)を含め、読書活動をさらに啓発していきます。
- 自己有用感について  
→人の役に立つ人間になりたいについて、肯定的な生徒は96.0%で、全国を1.4ポイント上回っており、本校グランドデザインに基づく取組による一定の成果と推察できます。

### <まとめ>

本校生徒は基本的な生活習慣及び計画立てた学習は概ね確立されており、自己有用感、「話す・聞く力」や「思考・判断・表現する力」も高く、自ら考え、伝える力は育まれています。読書活動を推進し、豊かな心を育てるための基礎づくりに努めます。本校における本校グランドデザインに基づく取組を、継続して推進するとともに、図書室を積極的かつ計画的に活用し、生涯を通じて読書に親しめるよう取り組んでまいります。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

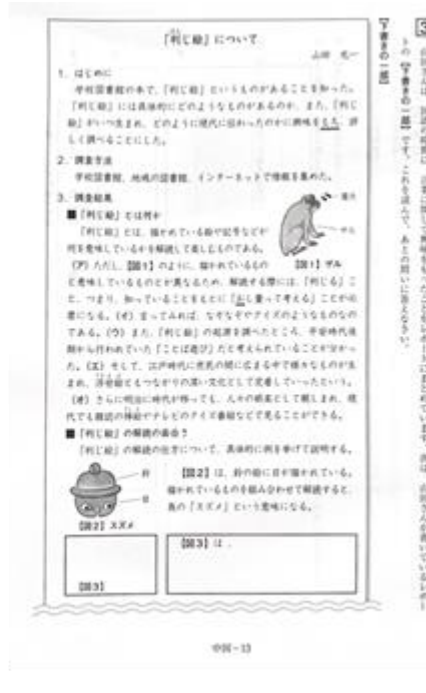
# 【詳細について】

## 教科に関する調査

<国語>

特徴的な設問

○最近の出題傾向として、一つの答えではなく、答えるものを選ばせて、具体的な理由を記述する問題が多い。

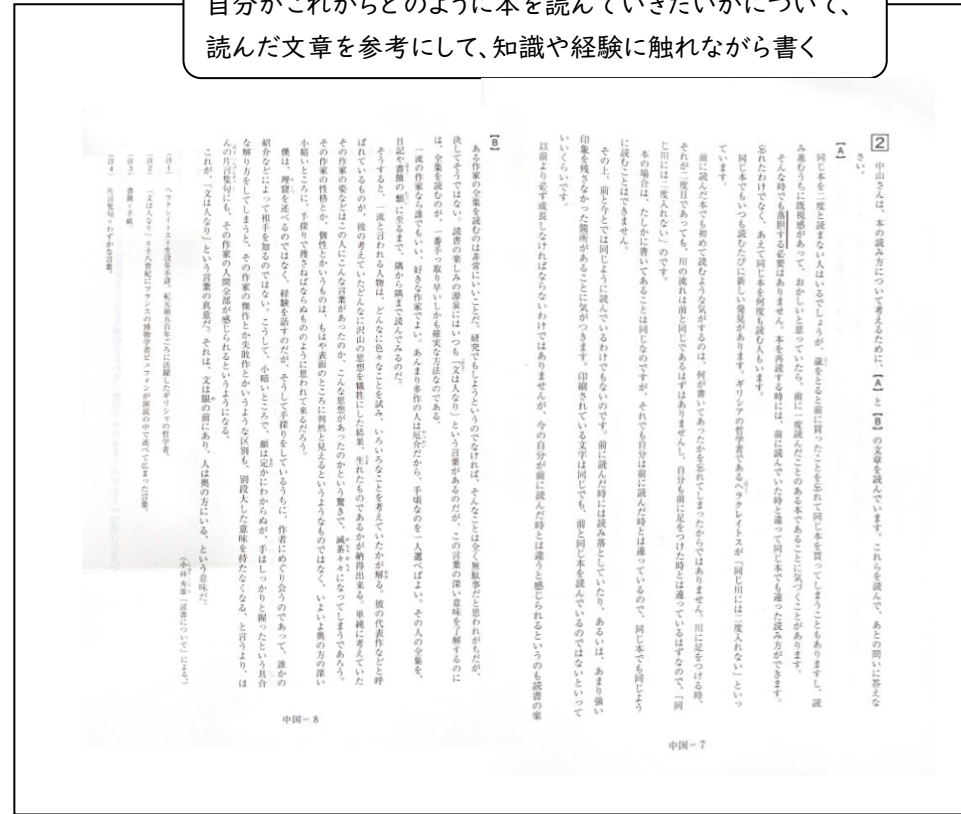


<国語>

成果や課題があった設問

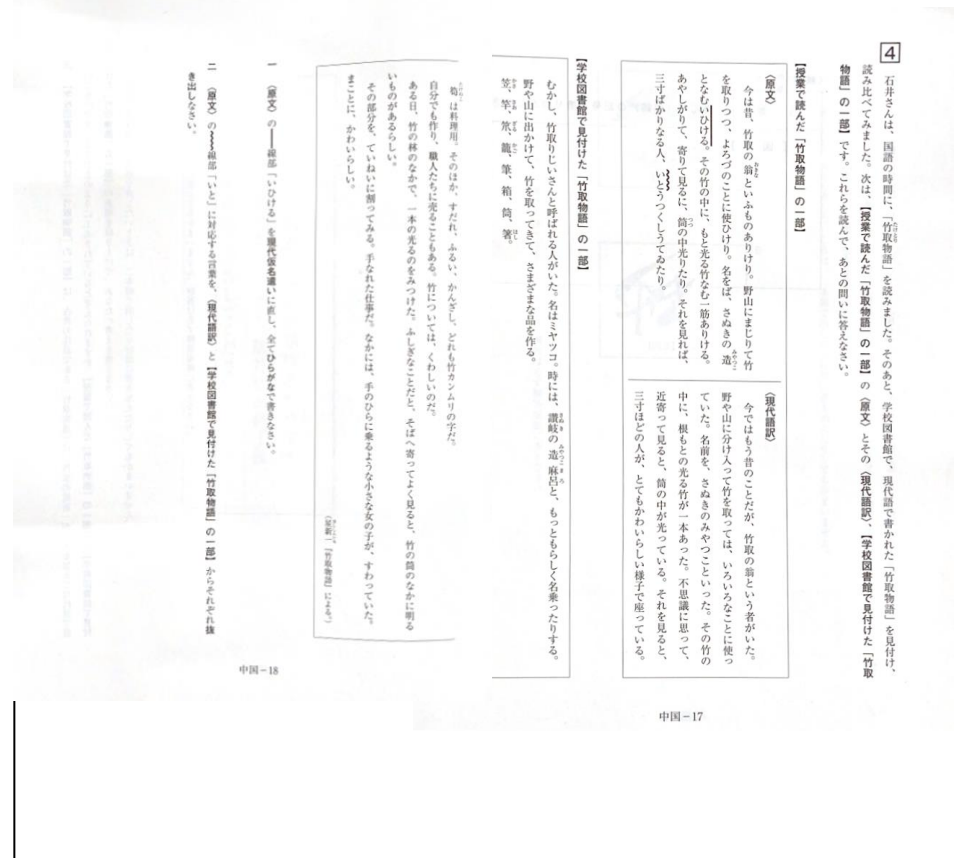
【成果】

自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、  
読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く



【課題】

表現の技法について理解する



		正答率	無解答率
2 四	本校	68.4%	1.6%
	全国	67.5%	3.9%

（考察）

この問題や1四などの記述問題において、本校の生徒の正答率は全国の正答率を上回り、無回答率については全国を下回っていた。授業の中では、グループワークの中で教材について自分の意見が言えるような時間が多いため、情報を受け取って、自分の考えを述べる問題に前向きに取り組むことができる生徒が多いのではないかと考えた。

		正答率	無解答率
4 一	本校	80.8%	3.1%
	全国	82.5%	3.6%

（考察）

この問題だけ全国平均の正答率を下回っていた。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いにする問題であり、知識的な領域の問題であると考えられる。先述の通り、グループワークの中で教材について自分の意見が言えるような時間が多いため、この結果から、知識を定着させる個人の時間も必要であるとも考えられる。

<数学>

特徴的な設問

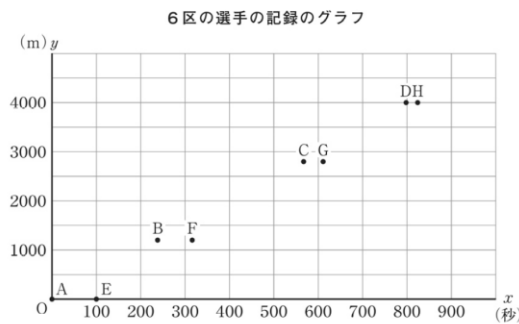
○事象における数量の関係を見だし考察する場面において、次のことができるかどうかをみる問題で、「数学的に表現したことを事象に即して解釈すること」や「事象を理想化したり単純化したりすること」、「問題解決の方法を数学的に説明すること」を求められていることがわかる問題である。他にもデータを取り扱う問題が出題されている。

数学 8 日常的な事象の数学化と問題解決の方法（駅伝）

8 大悟さんが住む地域にある新緑大学は、大学対抗駅伝大会に出場します。この駅伝大会では、コースを7区間に分け、1区から7区までをリレー形式で走ります。大悟さんは、新緑大学の6区の選手の応援に行きました。6区の道のりは12000mあり、6区のスタート地点では、晴天大学が先にスタートし、新緑大学がその100秒後にスタートしました。



前ページの大悟さんがまとめた表の記録について、例えば、新緑大学の「316秒」は、晴天大学がスタート地点をスタートしてから316秒後に、新緑大学が図書館前を通過したことを表しています。大悟さんは、晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間を $x$ 秒、6区の選手が走った道のりを $y$ mとし、前ページの大悟さんがまとめた表をもとに下のようなグラフに表しました。点Aから点Dが晴天大学、点Eから点Hが新緑大学を表しています。



次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差は、上の6区の選手の記録のグラフに表された点Aから点Hのうち、2つの点の $x$ 座標の差に表れます。点Aから点Hまでの中から、その2つの点を選んで書きなさい。

大悟さんは、インターネットで6区の速報を見て、新緑大学が晴天大学に追いつきそうだと考え、その地点を予想することにしました。

順位	記録	大学
○	○分○秒	晴天大学
○	○分○秒	新緑大学



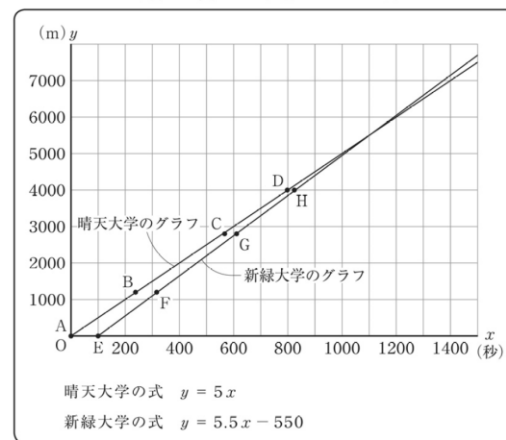
そこで、大悟さんは、晴天大学と新緑大学の6区の各地点の記録を、晴天大学の6区の選手がスタートしたときを0秒として、下のような表にまとめました。

大悟さんがまとめた表

地点	スタート地点からの道のり	晴天大学	新緑大学
スタート地点	0 m	0 秒	100 秒
図書館前	1200 m	238 秒	316 秒
郵便局前	2800 m	567 秒	611 秒
駅前	4000 m	798 秒	824 秒

(2) 大悟さんは、前ページの6区の選手の記録のグラフを見て、点Aから点Dまで、点Eから点Hまでの各点がそれぞれ一直線上にあると考えることにしました。そこで、コンピュータを使って、次のような2つの直線に表したところ、それぞれの $x$ と $y$ の関係を表す式は、晴天大学が $y = 5x$ 、新緑大学が $y = 5.5x - 550$ と表されました。

コンピュータを使って表された直線のグラフと式



晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について次のように考えたことになります。

晴天大学のグラフと新緑大学のグラフがそれぞれ直線で表されていることは、二人の選手について、が一定であると考えたことになります。

上のに当てはまる言葉として正しいものを、下のAからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア それぞれの走る速さ
- イ それぞれの走る時間
- ウ それぞれの走る道のり
- エ 走る時間の差
- オ 走る道のりの差

(3) 新緑大学が晴天大学に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるのかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いておよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何mかを求める必要はありません。

- ア 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフ
- イ 晴天大学の式と新緑大学の式

<数学>

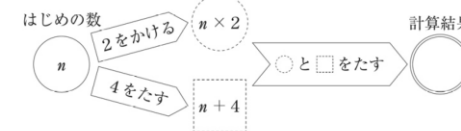
成果や課題があった設問

【成果】

説明することができるかどうかをみる

(3) 夏希さんは、7ページの図1の「2をかける」のかける数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を4の倍数である「4」や「8」に変えれば、計算結果がいつでも4の倍数になると考えました。そして、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」と予想しました。そこで、夏希さんは、はじめの数として入れる整数を $n$ とし、次の図3をかき、下のように計算しました。

図3



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を $n$ とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。計算結果は、  
 $n \times 2 + (n + 4)$   
 $= 2n + n + 4$   
 $= 3n + 4$

計算結果が $3n + 4$ となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。

上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも4の倍数になると予想できますか。「ならば、.....になる」という形で書きなさい。

		正答率	無解答率
6 (3)	本校	51.8%	18.1%
	全国	40.9%	24.7%

(考察)

結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる問題。記述式の問題全体を通して、対全国比1.15と成果があったが、本問題においては、1.27と特に顕著な成果があった。また、無回答率も全国-6.6と意欲的な姿勢がみえる。

【課題】

累積度数の意味を理解しているかどうかをみる

5 ある市の中学生の水泳大会における女子50m自由形に出場した40人の記録を調べました。調べた結果を、次の累積度数を含めた度数分布表に整理します。

女子50m自由形の記録

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 ~ 28.00	3	<input type="text"/>
28.00 ~ 29.00	2	<input type="text"/>
29.00 ~ 30.00	4	<input type="text" value="ア"/>
30.00 ~ 31.00	11	<input type="text"/>
31.00 ~ 32.00	8	<input type="text"/>
32.00 ~ 33.00	6	<input type="text"/>
33.00 ~ 34.00	3	<input type="text"/>
34.00 ~ 35.00	3	<input type="text"/>
合計	40	

女子50m自由形の記録のには最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数が入ります。に入る値を求めなさい。

		正答率	無解答率
5	43.5%	10.9%	0.0%
	46.1%	11.0%	0.4%

(考察)

累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題。数学で唯一、全国の平均正答率を下回った問題。累積度数の語句の意味、求め方が理解できていないことが考えられる。資料やデータを取り扱う単元については、作業や考察の場面で生徒が主体的に活動できる工夫をするなどし、体験に基づく学びをする必要があると考えられる。

<英語>

特徴的な設問

○聞くこと

- ・自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る
- ・目的に応じた情報を正しく聞き取る
- ・話の概要をとらえる

○読むこと

- ・グラフや表、メール、ポスターなどの情報を正しく読み取る
- ・短い文章の概要をとらえる

○書くこと


- ・短い文章の要点を捉え、自分の考え、理由を書く
- ・会話の流れが自然になるよう、必要な英文を正しく書く
- ・自分の考えや、相手に伝えたい情報を一定語数のまとまりのある文で書く

○話すこと


- ・即興で考えと理由を伝える
- ・説明を聞き、自分の考えと理由を伝える

英語② 説明を聞いて、考えとその理由を話す

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。



Do people in Japan buy plastic bags at stores?  
YES 26.2%  
NO 73.8%  
-My Idea-  
Stop selling plastic bags!



(スクリプト)  
Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25% of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

英語⑦ 文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える

⑦ 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(1) 英文中の ( ) に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 Like this  
2 For example  
3 Then  
4 Second

(2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大きな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.  
2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.  
3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.  
4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

(注) creative: 創造的な  
not only...but also...: ...だけでなく、...も  
puppet: 人形 workshop: ワークショップ  
connect: つながる while: 一緒に

英語⑧ 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

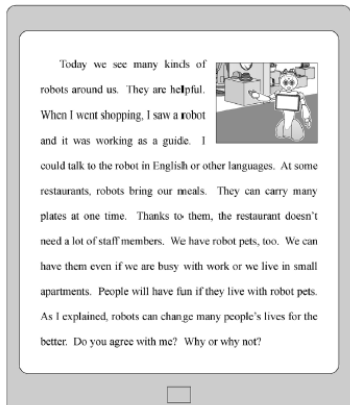
⑧ 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

1 We see many kinds of robots around us.  
2 I saw a robot and it was working as a guide.  
3 People will have fun if they live with robot pets.  
4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



<英語>

成果や課題があった設問

【成果】

自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取る

英語⑥ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る

⑥ 次の英文は、友達のエイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、エイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。



1 **Rugby Game**  
Let's watch together!  
Date & Time: Saturday, April 15, 9:30 a.m. - 11:30 a.m.  
Place: Midori Park

2 **Flower Market**  
You can buy beautiful flowers!  
Date & Time: Saturday, April 15, 9:00 a.m. - 4:00 p.m.  
Place: Hikari Garden

3 **City Orchestra**  
You can enjoy a wonderful performance!  
Date & Time: Sunday, April 16, 1:00 p.m. - 3:00 p.m.  
Place: Tsubomi Hall

4 **"Cook & Eat"**  
Let's enjoy cooking and eating!  
Date & Time: Sunday, April 16, 4:00 p.m. - 7:00 p.m.  
Place: Cooking Room "Wakaba"

【課題】

自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る

⑩ あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 ( , や ? など) は語数に含めません。  
(例) No, I'm not. 【3語】

		正答率	無解答率
6	本校	50.0%	0.0%
	全国	35.9%	0.3%

(考察)  
授業の中で図やパンフレット、ポスターなどから必要な情報を読み取る学習を定期的に行っており、正答率は半分であるものの、全国の正答率と比較すると一定の成果が表れている。

		正答率	無解答率
10	本校	10.3%	15.5%
	全国	7.4%	21.4%

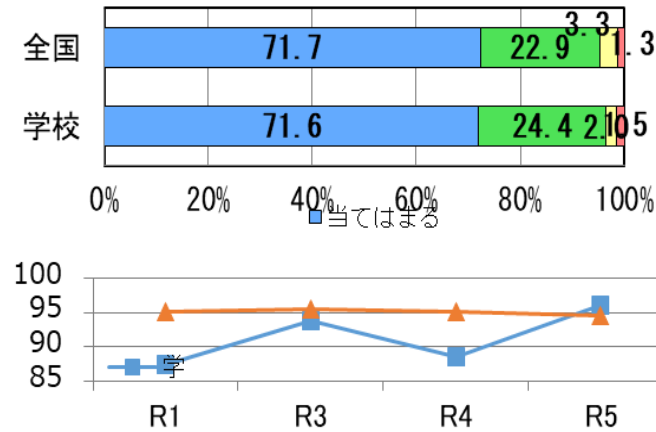
(考察)  
身近な題材(好きなもの、おすすめしたいものなど自分自身に関するもの)についてはある程度書けるようになってきている。しかし、題材によって内容のイメージがつかない時に、どれだけアイデアを生み出せるかについては足りない部分があった。授業を通して様々な題材に触れるとともに、基礎的な英文をたくさん書けるようトレーニングが必要である。

# 質問紙に関する調査

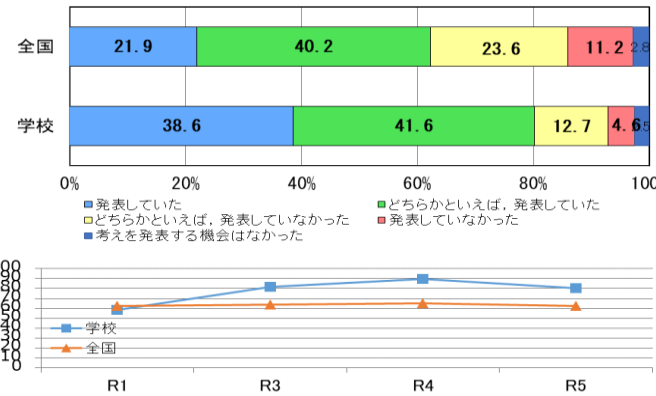
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

## 【成果のあった項目】

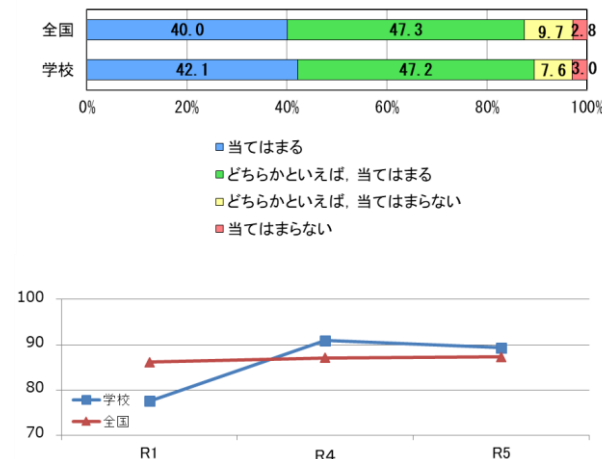
人の役に立つ人間になりたいと思う。



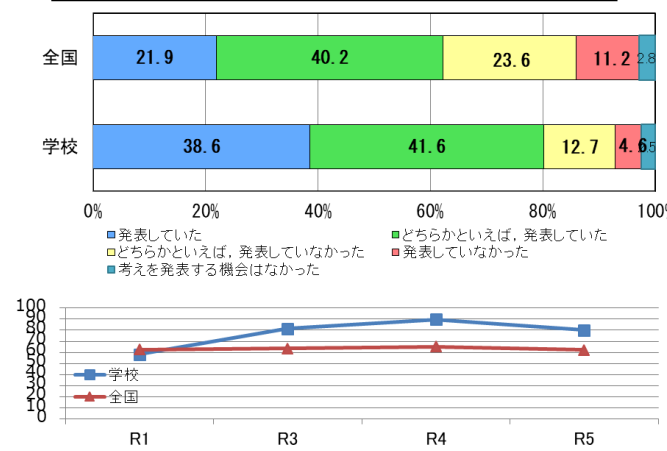
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか



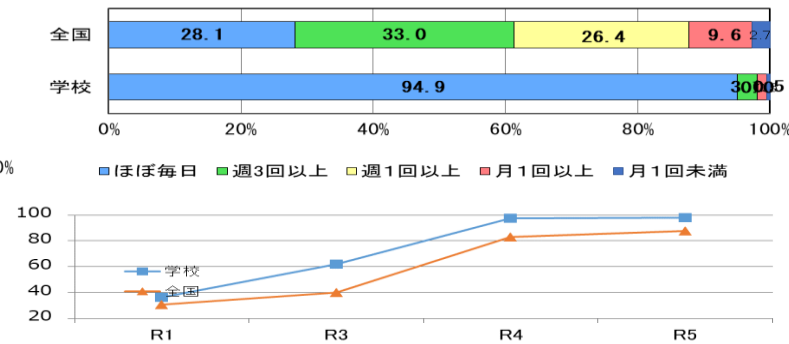
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。



1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



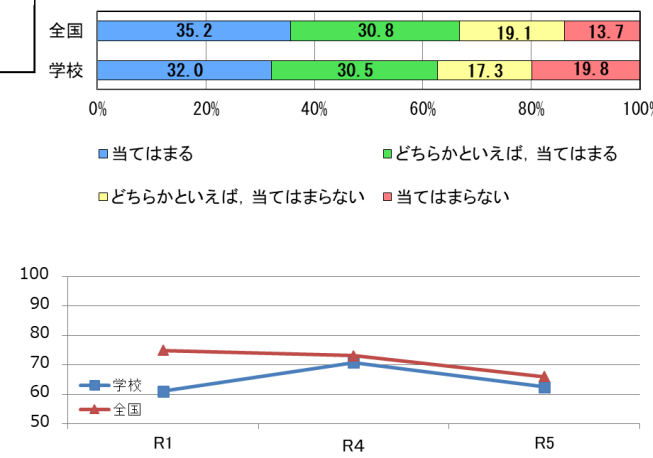
### (考察)

授業において、継続して取り組んでいるタブレット端末等ICTを活用した学習活動や、班をベースにした協同学習、「キャリアアッププロジェクト」で経験した他者と意見交流することで、企業からのミッションに取り組み、考えを広げ、深める取組なども、自己有用感の向上に、一定の成果が見られると推察します。

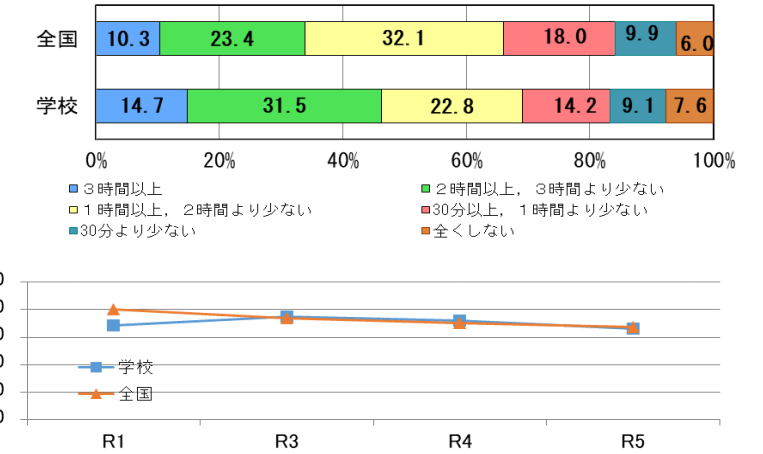
また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」やグラフ等を掲載しておりませんが、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目においても肯定的意見が多く、本校の教育目標である「考える 思いやる たくましく生きる」に向けて、引き続き、グランドデザインに基づく資質・能力の育成等、教育活動を充実させてまいります。

## 【課題が残った項目】

読書は好きですか。



学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



### (考察)

読書に関しては1ページ目において、全く読書をしない生徒が50.3%であり、読書が好きな生徒は62.5%であるため、読書が好きでも読む時間が他のことを行っている時間になっているのかと思いますが、読書を通じて出会う感情や文章、単語等は自分自身の気持ちを発信する際に有効になることを考えると、学校図書館の紹介も含め、読書の啓発に努めていきます。

また、学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりの学習が30分より少ない生徒は16.7%で、全国より0.8ポイント上回っています。家庭においてもタブレットの活用により、学習する機会を設けるなど、効果的な家庭学習について考察していきます。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

### (1) 授業改善について

- ・タブレットを活用し、生徒自らが考え、経験し、行動する活動を設けていきます。
- ・教員が授業研究や相互授業参観など、授業力向上に努め、資質・能力の育成を支援します。
- ・自ら課題を見つけ、学んだこと、経験したことを生かして課題解決ができるような取組を設けていきます。
- ・協同学習を研究し、生徒同士の考えを話し合い、他者と意見交流し、不明なことについて解決していく機会を大切にします。
- ・今回の学力調査の設問も参考に、深く考えることにつながる発問等を準備し、生徒たちに考える機会を作ります。
- ・説明する機会、相手に伝える機会を設けるなど、「表現する力・伝える力」の育成に努めます。
- ・集団づくりを教育の重点に据え、間違えることを恐れず、安心感をもって学習できる環境づくりに努めます。

### (2) 家庭学習について

- ・タブレットをさらに活用し、家庭学習を充実したものにできるよう、研究します。
- ・授業で習ったことをもとに、書く・まとめる・説明することを求めるような家庭学習の課題を検討します。
- ・読書の時間を作れるよう、図書委員会発信で、学校図書館の活用について啓発を行っていきます。
- ・課題を計画的に取り組み、不明な箇所を調べたり、周りに尋ねたりする習慣を身につけられるよう指導していきます。
- ・家庭学習の手引きやスケジュール表などを活用できるよう取組を進めていきます。